

五ヶ山ダム及び周辺地域整備に関する提言書

はじめに

経済福祉常任委員会では、平成29年度完成予定の五ヶ山ダム及び周辺地域の整備について、先進地視察等を行い調査・検討を行った。

周辺地域の整備にあっては、9つのゾーンに分けた整備計画があり、その内、3つのゾーンが本町の計画地域となっており、その他は、福岡県、佐賀県吉野ヶ里町が整備を行うこととなっている。

周辺整備については、本町の観光振興及び南畑地域活性化を図るうえで大きな期待が寄せられていることから、多種多様な視点から検討を重ねた。

については、五ヶ山ダム及び周辺地域の整備について、下記のとおり提言する。

1. 調査・検討の経過

| | | |
|-------|------------|--|
| 平成24年 | 4月18日 | 経済福祉常任委員会（現地調査） |
| 平成24年 | 5月21日 | 経済福祉常任委員会 |
| 平成24年 | 6月13日 | 経済福祉常任委員会 |
| 平成24年 | 7月19日 | 経済福祉常任委員会 |
| 平成24年 | 8月28日 | 経済福祉常任委員会 |
| 平成24年 | 9月20日 | 経済福祉常任委員会 |
| 平成24年 | 10月1日 | 経済福祉常任委員会 |
| 平成24年 | 10月16日～18日 | 経済福祉常任委員会行政視察 御母衣ダム視察 岐阜県揖斐川町視察 |
| 平成24年 | 10月29日 | 経済福祉常任委員会 |
| 平成24年 | 11月9日 | 経済福祉常任委員会行政視察 八女市 夢たちばなヴィレッジ 八女市 べんがら村 福岡市 今津リフレッシュ農園 |
| 平成24年 | 11月15日 | 経済福祉常任委員会 |
| 平成24年 | 11月26日 | 経済福祉常任委員会 |

2. 提言内容

(1) コンセプトについて

水と緑の調和

ダムと既存自然環境との調和

つどい・ふれあいを創出

ゆったりとした癒しの時間を過ごしたり、人々が集い、ふれあう場の整備
健康づくり・レクリエーションに活用

健康づくり、行楽の拠点として活用できる場の整備
観光資源の魅力を引き出す

ダム魅力を満喫できる場の整備、及び周辺施設との連携・相乗効果を図り町の観光資源の魅力を引き出す。

(2) 整備概要について

ゾーン1（桑河内ふれあい公園（仮称））整備について

ダムサイト河口右岸に位置し湖面を臨むことはできないが、37,000 m²（A）と4,000 m²（B）の広い敷地を利用して軽スポーツやイベントの開催など、レクリエーション施設とする。

ゾーン3（ダムサイト記念公園（仮称））整備について

ダムサイトに位置し湖面を臨む。面積9,000 m²。五ヶ山ダム観光の拠点として整備し、さらに周辺施設への回遊を促す。

ゾーン4（倉谷展望公園（仮称））整備について

ダム湖の西側に位置し湖面を臨む。面積が330 m²と狭いため、休憩可能な展望公園として整備する。

(3) 整備メニューについて

ゾーン1のA

植生を考慮した四季折々の樹木を植栽

多目的芝生広場（グラウンドゴルフ、フットサル等、駐車場としても利用可能）

ゾーン内を周遊するジョギングコース

固定ステージ

水汲み場

ゾーン1のB

滞在型市民農園

ゾーン3

資料館を整備し、商業施設（本町の特産品販売・活用等）を併設

温泉（温浴）施設

ゾーン 4

駐車場、トイレ、展望施設

ゾーン 1 の A から B への連絡路

既存の遊歩道を活用したグリーンピアなかがわとの連絡路

五ヶ山小学校跡地に仮植えしている石南花について、福岡県が整備するゾーン 2 に移植することを基本に福岡県と協議する。

町内芸術家のモニュメントを展示

(4) ダム建設工事に伴う安全確保について

工事車両の通行に伴う地域住民の安全確保として、車両通行規制の励行、また、歩道整備を行うこと。

まとめ

当該整備については、住民はもとより町内外から老若男女を問わず利用促進を図ることは当然であるが、特に維持管理費及び将来の改修経費を考慮し、一般財源の支出を抑制できる収益性のある事業整備が望まれる。

そうした観点から、シニア層、シルバー層を中心に、様々なライフステージの方々が利用し、楽しんでもらえる施設整備を行い、福祉向上を図ることが肝要であるとの結論に至った。

平成 2 4 年 1 2 月 2 0 日

那珂川町長 武末 茂喜 様

那珂川町議会議長 加納 義紀